

市町長を支援する「トップセミナー」を開催

「平成27年9月関東・東北豪雨」では、全国各地において浸水被害等が発生し、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、人的被害に加え約1万1千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

今回の水害を受け、国土交通省では、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を実施することとしたところであり、この行動の一環として、金沢河川国道事務所では、昨年 11 月に梯川及び手取川において実務担当者を対象にした危険箇所等の「共同点検」を実施し、また、梯川流域の小松市においては市長を支援するための「トップセミナー」を開催したところです。

今回、手取川沿川の白山市、能美市、野々市市、川北町の各首長を対象としたトップセミナーを下記のとおり開催する運びとなりましたのでお知らせします。

トップセミナーでは、市町村長が行う避難勧告・指示の判断材料となる出水時に河川管理者が提供する情報（洪水予報やホットライン等）について説明し、市町村がとるべき対応について相互に確認を行います。

「避難を促す緊急行動」 国土交通省HP

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000893.html

■ トップセミナーの開催日時、場所等

開催日時) 平成 28 年 1 月 14 日(木) 11:00 ~ 12:00

開催場所) 白山市役所 4階 402 会議室

参加機関) 白山市、能美市、野々市市、川北町の各首長及び担当部局担当者 等

■ 報道関係者の皆様へ

参加予定者が集まり次第、トップセミナーを開会しますので、ご了承下さい。

また、トップセミナーのカメラ撮りは、会議冒頭の挨拶までとさせて頂き、それ以降は非公開とさせて頂きます。

なお、トップセミナーの終了後(12 時頃を予定)、同会場においてトップセミナーの内容について取材対応を致します。

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

副所長(河川) 石川 一栄 076-264-8800(代表)

調査第一課長 谷口 和哉 076-264-9910(直通)

平成 27 年 10 月 5 日
水管理・国土保全局

平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて 「避難を促す緊急行動」を実施します

この度の平成 27 年 9 月関東・東北豪雨により、全国各地において浸水被害等が発生しており、特に鬼怒川の堤防が決壊した茨城県常総市では、約 1 万 1 千棟が浸水するなど甚大な被害が生じました。

今回の水害を受け、

- ① 堤防決壊に伴う氾濫流による家屋の倒壊・流失
- ② 地方公共団体による避難判断、広域避難
- ③ 避難の遅れと長時間・広範囲の浸水による多数の孤立者の発生

の 3 点を対処すべき主な課題と捉え、全国の市町村長や堤防沿いにお住まいの住民の方々の不安や懸念に応えるための「避難を促す緊急行動」を実施することと致しましたので、お知らせいたします。

添付資料

- 【別紙 1】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害を踏まえた主な課題
- 【別紙 2】平成 27 年 9 月関東・東北豪雨を受けて
「避難を促す緊急行動」
- 【別紙 3】「避難を促す緊急行動」の概要

<問い合わせ先>

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課

河川事業調整官 林 正道 (内線 35302)

河川企画係長 三國谷 隆伸 (内線 35333)

TEL : (03) 5253-8111 (代表)

TEL : (03) 5253-8443 (直通) FAX : (03) 5253-1602